


SHOWCASE

けんせつ小町 活動の記録





もっと女性が 活躍できる建設業を 目指して

「けんせつ小町」は、建設業で働く全ての女性の愛称です。

建設現場で働く技術者・技能者、土木構造物や建物の設計者、新技術を開発する研究者、お客様とのプロジェクトを進める営業担当者、会社の運営を支える事務職など、活躍の舞台は多岐にわたります。

日本建設業連合会(日建連)は、男性中心だった建設業を女性が持てる力を発揮できる産業にしていくため、労働環境などの整備を進めています。東北支部では2015年度に「けんせつ小町(小)委員会」を立ち上げ、現場見学会やフォーラム、パトロール、アンケート調査など、さまざまな活動を展開してきました。

この小冊子では、けんせつ小町(小)委員会のこうした活動を詳しく紹介しています。ぜひご一読いただき、けんせつ小町の活動に関心を持っていただけたら幸いです。

これからも女性だけでなく建設業全体が働きやすい、働き続けたいと思われる職場環境を実現していくための活動を積極的に進めてまいりますので、けんせつ小町活動にご支援・ご協力をお願いします。

目次

「SHOWCASE けんせつ小町 活動の記録」の発行に寄せて	2
活動紹介／2015年度～2020年度	3～13
インスタグラム紹介	13
けんせつ小町パトロール	14
けんせつ小町(女性従業員) アンケート調査	15～18
けんせつ小町活躍推進計画の 3つのテーマと方向性	19
誰もが活躍できる未来に向けて	20

SHOWCASE

SHOWCASEとは、英語で「人や物を紹介する・披露する」という意味合いです。このタイトルには「東北のけんせつ小町がこれまで展開してきたさまざまな活動を多くの人に知っていただきたい」という思いが込められています。

「SHOWCASE けんせつ小町 活動の記録」の発行に寄せて



日頃より日建連東北支部 けんせつ小町(小)委員会の活動にご理解
頂き感謝申し上げます。

2015年よりけんせつ小町活動を開始して、今年度で5年になります。
この間、皆様方のご協力により、女性が働きやすい職場、作業所の
環境作りを力を入れてまいりました。これからの5年間(2020年～
2024年)は、「働きたい、働き続けたい建設業をめざして」をキャッチ
フレーズとして、定着支援、活躍支援、入職支援の3つの大きなテーマ
に着目して、活動を進めて行きたいと考えております。

作業所における環境整備について、引き続き女性目線での対応策
を検討し、現場の規模に関わらず誰もが働きやすい環境を目指してい
く必要性を感じています。また、男性中心だった建設業において、女性
活躍を推進するためには更なる意識改革の必要性も感じています。労
働環境と個人の意識の格差をなくすることができるような施策を講じ、
積極的に働きかけを行っていききたいと思います。

2020年度に実施したけんせつ小町アンケートには、出産育児に関
する意見も多数あり、この問題の大きさをひしひしと感じております。
今まで日本の政治が目をそらしてきた問題が一気に吹き上がってき
ています。我々だけの活動で解決できる問題ではないと思いますが、
出産育児に関する問題を解決しないと、「働きたい、働き続けたい建
設業」の実現には至らないと強く感じています。

一時のブームとすることなく、地道にけんせつ小町の活動を積み上
げながら、世論を動かす大きな力になっていくことを期待すると共に、
ジェンダーに対する偏見のない平等な立場で仕事ができる文化を築
きあげていきたいと思っております。

引き続き、日建連東北支部 けんせつ小町(小)委員会のご活動をご理
解頂き、皆様には積極的にご参加頂くことをお願い申し上げます。

けんせつ小町(小)委員会
委員長 大野 雅紀

活動紹介 / 2015年度

女性技術者交流サロン (夏の現場見学会)

開催日 / 2015年10月9日～10日
見学場所 / 大槌町町方地区震災復興事業・
釜石湾口防波堤復旧工事

土木学会東北支部・土木技術者女性の会・日本建設業連合会東北支部の3団体共催による2015年度「女性技術者交流サロン(夏の現場見学会)」では、10月9日・10日の2日間にわたり、東日本大震災の津波により被災した大槌町の復興街づくりと、岸壁・物揚場等の損壊や地盤沈下を受けた釜

石港の港湾施設の災害復旧工事の現状を見学しました。地方自治体・JR・電力会社・コンサルタント会社・ゼネコン・土木学会・大学などから35名が参加し、1日目の夜に行われた懇親会では、キャリアパス、ライフワークバランスについての話題で大いに盛り上がりました。



高台より大槌町復興事業の現場を望む



船に乗り釜石港の現場を見学

けんせつ小町現場見学会

開催日 / 2016年1月15日
工事名 / 仙台駅東西自由通路拡幅・東口開発工事
施工 / 鉄建建設・大林組JV

けんせつ小町(小)委員会主催の初のけんせつ小町現場見学会を、仙台駅東西自由通路拡幅・東口開発工事(仙台市)の現場を対象に開催し、30人を超える女性技術者が参加しました。工事に従事している女性技術

者からプロジェクトの概要と工事についての説明を受けた後、現場を見学しました。参加者からは、現場の女性用設備の整備状況などについて質問があがりました。



模型を用いたプロジェクト・工事説明



現場前での記念撮影



第1回けんせつ小町フォーラム

2016年1月に第1回フォーラムを開催し、約40名の女性技術者が参加しました。2015年8月と11月に行った2件の調査結果をもとに、女性技術者がさらに活躍していくための方策について意見を交換し、女性職員が様々なハードルを乗り越え、長期的に仕事を続けるためには、本人だけでなく会社全体の意識を変える必要があるとの認識を共有しました。委員会から「実態調査やフォーラムは小さな一歩ですが、ひとつずつ積み重ね、大きな変化につながるよう力を合わせていきましょう」と参加者に呼びかけました。また、フォーラム終了後の懇親パーティーでは参加者同士で情報交換を行い、横の繋がりを深めました。

開催日 / 2016年1月15日
会場 / ホテルメトロポリタン仙台
テーマ / 実態調査報告



委員長から参加者へ力を貸して欲しいとメッセージ



改善が必要なのは、労働時間・男性の意識・休日取得など



多くの女性技術者らが参加

活動紹介 / 2016年度

けんせつ小町現場見学会

開催日 / 2016年11月21日

工事名 / 大原綜合病院移転新築工事

施工 / 鹿島・佐藤・菅野JV

2016年度のけんせつ小町見学会は、大原綜合病院移転新築工事(福島市)の現場を対象に実施しました。40人の女性技術者が参加し、BIMやITツールを活用した施工を学ぶとともに、お互いの交流を深めました。同現場配属の女性技術者から、工事概要と施工状況及び各フロアの特徴について説明を受けながら現場を見学し、屋上階で記念撮影を行いました。



現場で導入しているBIMやITツールについて説明



現場前広場にて注意事項の説明を受ける



フロアごとの施設の特徴を紹介



施工状況の説明を受けながら見学



福島市内を望む屋上にて記念撮影



第2回けんせつ小町フォーラム

開催日 / 2016年11月21日
会場 / ホテルメトロポリタン仙台
テーマ / 家庭と仕事の両立

2016年度のけんせつ小町フォーラムでは、2015年度に実施したアンケートで「両立をしている方の話を聞きたい」という要望があったことを受け「家庭と仕事の両立」をテーマにパネルディスカッションを行いました。妊娠と子育て中の問題に対しては、コミュニケーションや事務所内でのフォローにより解決した経験談が語られました。また先進的な両立支援制度を紹介し、終了後、参加者から自社内で水平展開したいとの希望も多数寄せられました。現場勤務を継続する方策については、在宅勤務や大規模工事での託児所の設置、サテライトオフィスの開設など、建設的な意見が上がりました。



何とか女性の活躍を推進していきたい



大きな現場に託児所があれば女性だけでなく男性も子供を連れて働くことができる



お子さん同伴で参加



男性社員も育児、介護で休みを取得できる風土づくりを進めて欲しい



60名が参加し86.6%が満足

活動紹介 / 2017年度

女性技術者交流サロン (現場見学会)

開催日 / 2017年7月21日～22日

見学場所 / 7月21日:東北中央自動車道(南陽高畠～山形上山間)工事
7月22日:玉川第二発電建設所工事

2017年度「女性技術者交流サロン(現場見学会)」では7月21日～22日の2日間にわたり、東北中央自動車道、玉川第二発電所の工事現場を見学しました。本行事は土木学会東北支部、日本建設業連合会東北支部などの5団体共催で行われ、40人以上の参加となりました。

東北中央自動車道の工事現場では日本最大級の真空圧密工法を採用しており、現場の方より丁寧な説明がありました。また21日には米沢市内で女性技術者交流会を開催し、参加者同士情報交換しながら楽しい時間を過ごしました。



やまがたざおうトンネルを見学



現場の説明を受ける参加者

けんせつ小町現場見学会

開催日 / 2017年11月27日(月)

工事名 / 原町東部雨水幹線工事2

施工 / 佐藤工業・深松組・高工JV

2017年度のけんせつ小町現場見学会は、原町東部雨水幹線工事の現場を対象に開催し、女性技術者ら約40人が参加しました。現場は浸水被害の低減を目的として下水道バイパス幹線管きょを地下30メートルに整備する工事で、採用している泥土圧式シールド工法

の特徴など説明を受けながらシールド坑内の施工状況を見学しました。

現場には3人の女性技術者が配置され、30メートルという深さでの施工で工夫した点などさまざまな話をお聞きしました。



女性技術者による現場説明の様子



説明に耳を傾ける参加者たち



第3回けんせつ小町フォーラム

開催日 / 2017年11月27日

会場 / ホテルメトロポリタン仙台

テーマ / イクボスと考える私たちの働き方

第一部:講演/「風通し良く」

戸田建設(株)東京支店 建築工事部
部長 森田 誠

第二部:パネルディスカッション/

けんせつ小町(小)委員会 委員長	波川 智
戸田建設(株)東京支店 建築工事部 部長	森田 誠
鹿島建設(株)東北支店	
大原総合病院移転新築工事事務所 所長	柴田剛典
大成建設(株)東北支店 土木部技術室長	小倉 大
けんせつ小町(小)委員会 委員	西條咲子

「イクボスと考える私たちの働き方」をテーマとしたけんせつ小町フォーラム2017には約70人が参加し、建設業界が抱える課題を克服するための取組やこれまでの経験などを踏まえ「風通し良く」をテーマに講演していただきました。

講演者は厚生労働省の「イクボスアワード2016」でグランプリを受賞した戸田建設東京支店の森田誠建築工事部長で、「コミュニケーション重視で自由に仕事ができる雰囲気づくり」「『良いことも悪いことも風通し良く』を掲げた現場管理」「3カ月先まで休暇予定を決める」「女性だけでなく全ての人が働きやすい環境を整える」「悪しき風習は変えていく」など、働き方に関する自らの取り組み方を話されました。



講演中の森田氏

その後のパネルディスカッションでは、建設業界で女性が働く上での課題や、さらなる活躍促進方策を話し合い、技術者を登録制にし、別の建設会社の現場を担当できる仕組みなど、さまざまな提案が寄せられました。



パネルディスカッション

活動紹介 / 2018年度

けんせつ小町現場見学会

開催日 / 2018年12月10日(月)

工事名 / 常磐自動車道岩沼工事

施工 / 大成建設

2018年度のけんせつ小町現場見学会は、常磐自動車道岩沼工事の現場を対象に開催し、女性技術者を中心に約40名が参加しました。この工事は常磐自動車道の4車線化工事の一部で、阿武隈川に掛かる橋梁の下部工や盛土工の現場と、工事のPR館を見学しました。

現場には女性技術者が1名配属されており、現場見学の際には、橋脚基礎に用いられているニューマチックケーソン工法の説明や、24時間施工の大変さなど、さまざまなお話をお聞きました。



ニューマチックケーソン工法の模型



PR館を見学



仮設栈橋上から橋梁下部工の現場を見学



ボックスカルバートの施工の様子



第4回けんせつ小町フォーラム

開催日 / 2018年12月10日(月)
会場 / ホテルメトロポリタン仙台
テーマ / 自分らしいキャリアを描こう

講演/「けんせつ小町が推進 KUMAGAI STAR PROJECT」
熊谷組建築事業本部ソリューション部 副部長 星野恵美

第4回けんせつ小町フォーラムは、「自分らしいキャリアを描こう」をテーマとし、熊谷組建築事業本部ソリューション部の星野恵美副部長に「けんせつ小町が推進 KUMAGAI STAR PROJECT」と題した講演を行っていただきました。

日建連第3回けんせつ小町活躍推進表彰の優秀賞を受賞した同プロジェクトは、熊谷組がミャンマーで受注した工事の現場周辺に、NPOと協働して学校校舎を建設する取り組みです。

星野副部長からは、ご自身が抱いていた学生時代からの思いやプロジェクト発足の経緯、プロジェクトがスタートしてからの海外工事ならではの大変だったエピソードを伺いました。そして「何かを提案する際には、相手に伝わる言葉、刺さる言葉を選んで語ることが重要」とのメッセージを頂きました。



講演中の星野氏

質疑応答の中では、何事に対しても「初めてのことに挑戦すれば、いくつもの壁が立ちちはだかるが、そのときに大事なのは情熱。働き方改革の流れはあるが、自分がやりたいと手を挙げたことに音は上げられない。その思いに共感してくれる人はきっと出てくる」と今後のけんせつ小町の活躍にエールを頂きました。



講演中の様子

活動紹介 / 2019年度

女性技術者交流サロン (夏の現場見学会)

開催日 / 2019年8月29日～30日

見学場所 / 梁川ダム、八戸港ほか

土木学会東北支部、日本建設業連合会東北支部などの5団体共催による2019年度「女性技術者交流サロン(夏の現場見学会)」では8月29日・30日の2日間にわたり、梁川ダム(岩手県)や八戸港(青森県)などの

工事現場を見学しました。また29日には八戸市内で、女性技術者交流会を開催し、建設産業のさまざまな分野・立場で働く女性同士が互いに情報を共有しながら懇親を深めました。



女性技術者交流会の参加者たち



八戸港の現場を見学

けんせつ小町現場見学会

開催日 / 2019年9月30日

工事名 / 東北放送新社屋建設計画建設工事

施工 / 大林組・山下設計JV

2019年度のけんせつ小町現場見学会は、東北放送新社屋建設計画建設工事(仙台市)の現場を対象に開催し、30人を超える参加者が働き方改革や生産性向上に精力的に取り組む現場を体感しました。

この現場では働き方改革として「働き方改革アクションプラン」を作成し、職員は4週8

休、現場は4週6閉所を推進する」「退社時間を各人のデスク前に表示したり、残業時間を見える化したりすることにより長時間労働を防止する」「女性専用のエアコン付きトイレ・休憩所を設置する」といった工夫を凝らしていました。



現場見学の様子



現場事務所に集まる参加者たち



第5回けんせつ小町フォーラム

開催日 / 2019年9月30日

会場 / ホテルメトロポリタン仙台

テーマ / アンコンシャス・バイアスについて考えよう

講演 / アンコンシャス・バイアスについて

講師 / 株式会社アパシヨナータ 代表 パク・スックチャ

「アンコンシャス・バイアスについて考えよう」をテーマとした第5回けんせつ小町フォーラムには約80人が参加。性別・年齢などに対する無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)が組織や個人に与える影響などを分析した講演を踏まえ、女性を含めた全ての人がさらに活躍できる建設産業の在り方を共に考えました。

講師はワーク・ライフ・バランスなどのコンサルティングを手掛けるパク・スックチャ氏。この中でパク氏は無意識の偏見を意味するアンコンシャス・バイアスをめぐり、「性別や年齢をはじめさまざまな物事に対する無意識の偏見は誰にでもありますが、仕事面ではそれを横に置いて全ての人を有利にも不利にもせず、高い生産性で働ける環境



講師を務めたパク氏

を築き上げることが重要」と指摘。その上で無意識の偏見を抑えるため「自身に偏見があることを認め意識を高める」「人の判断や評価をするときはゆっくり考える」「多様な人たちと接し個人として知る」ことなど重要性を訴えました。



双方向のやりとりで講義の理解が深まりました



女性技術者交流サロン (初のオンライン現場見学会)

開催日 / 2020年12月8日
見学場所 / 小名浜港東港地区航路・泊地(ー016メートル)浚渫工事

土木学会東北支部、東北地方整備局、日本建設業連合会東北支部など8団体は12月8日、「女性技術者交流サロン」の一環として初のオンライン現場見学会を開催しました。施工を担当する五洋建設・不動テトラ・りんかい日産建設JVの女性技術者らがレポーターとなり、スエズ運河などを掘った実績を持つ日本最大級のポンプ浚渫船「駿河」から女性専用キャビンをはじめとした船内の様子を生中継したほか、小名浜港内の揚土場、現場事務所など複数箇所をテレビ会議システムでつなぎ、港湾工事で進むi-Constructionや働き方改革の取り組みを紹介しました。



中継会場の様子

Instagram紹介

日建連東北支部 けんせつ小町(小)委員会はInstagramを開設し、定期的に活動の様子などをアップしています。ぜひ下記QRコードからページをご覧ください。



Follow Me!!





けんせつ小町が現場を点検

けんせつ小町パトロールは、女性を含めた全ての人々が働きやすい現場環境の整備を目指して2019年度から実施しています。「机の上など整理整頓されているか」「女性用の更衣室/休憩室が準備されているか」「(トイレが)男性・女性用に分かれて設置されているか」「けんせつ小町が第三者(外部向け)に周知されているか」といった独自の点検表に基づき、けんせつ小町(小)委員会のWG委員が現場を点検し、項目ごとにA・B・Cの3段階で評価することとしています。

19年度はWG委員が3班に分かれてマンション、病院、工場、水処理施設という特徴が異なる4現場を点検し、「清掃が行き届いており非常に清潔だった」「朝礼看板にデジタルサイネージが設置されていた」「来客用の装備・サイズが豊富だった」などの点が高く評価されました。

20年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点からけんせつ小町(小)委員会のWGメンバーが自社の現場をそれぞれ点検することとしました。点検の結果を見ると、事務所の整理整頓、トイレの清潔さなどに関する項目は全ての現場で高い評価が得られた一方、「けんせつ小町」を第三者(外部向け)に周知する取り組みなどについては、多くの現場で十分ではないことがあらためて浮き彫りとなりました。



ある現場では空気清浄機付きの喫煙室を完備



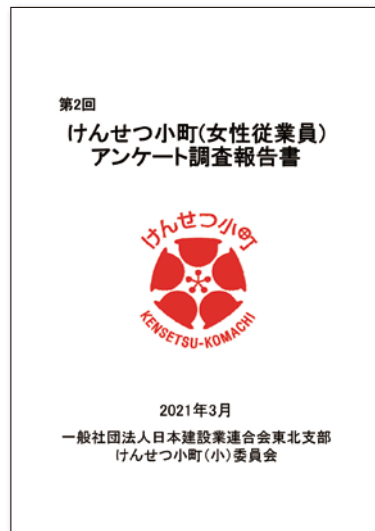
男女別トイレ



女性専用休憩室を設けている現場も

けんせつ小町(女性従業員)アンケート

けんせつ小町(小)委員会は2015年6月にスタートしましたが、まずは女性技術者の現状を把握することから本活動をはじめることとし「女性技術者実態調査」を実施しました。その後5年が経過し、けんせつ小町を取り巻く環境も大きく変わりました。そこで、5年経った2020年に改めて第二回の実態調査を行いました。



第1回 女性技術者実態調査

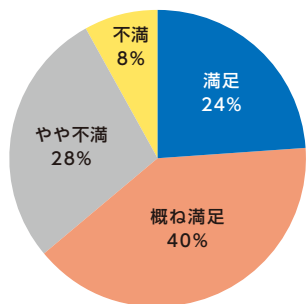
- 1 調査期間
2015年11月4日～2015年11月20日
- 2 調査対象
(一社)日本建設業連合会東北支部
会員会社に所属する東北支店管内の全女性技術者
- 3 目的
女性技術者が仕事を続ける上での問題点を探り、今後女性活躍のための改善点・改革のための行動指針を探る。
- 4 テーマ
①「現状について抱えている問題」
②「未来」について不安に思っていること
③良好事例の収集
④女性技術者を増やすための方策
- 5 調査票回収数
50件

第2回 女性従業員アンケート調査

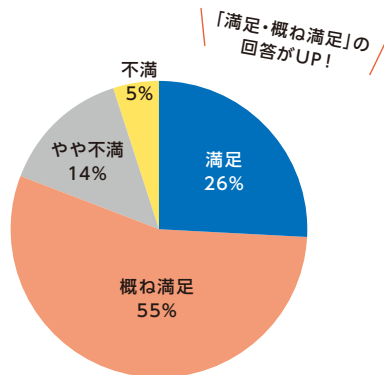
- 1 調査期間
2020年10月30日～2020年11月30日
- 2 調査対象
(一社)日本建設業連合会東北支部
会員会社に所属する東北支店管内の全女性従業員(職種問わず)
- 3 目的
建設業で働くすべての女性を対象とした働きやすさを知るためのアンケート
- 4 テーマ
①現在の勤務先での待遇・職場環境
②「働きたい、働き続けたい建設業」になるために
③仕事を続けていくために
④コロナ禍における状況
- 5 調査票回収数
388件



Q1 勤務先での待遇・職場環境への満足度

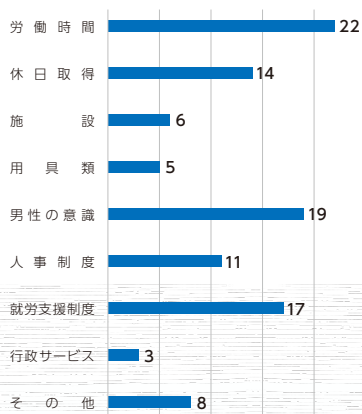


第1回 女性技術者実態調査

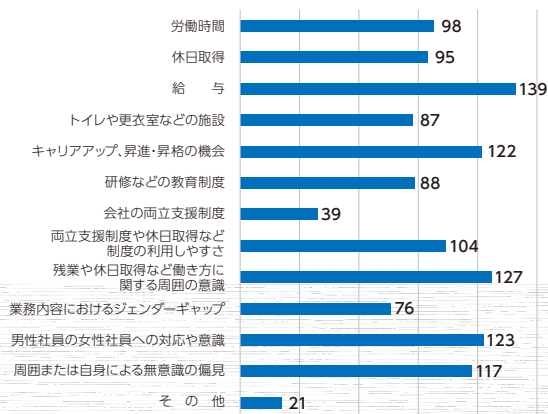


第2回 女性従業員アンケート調査

Q2 働き続けたい建設業になるために



第1回 女性技術者実態調査



第2回 女性従業員アンケート調査

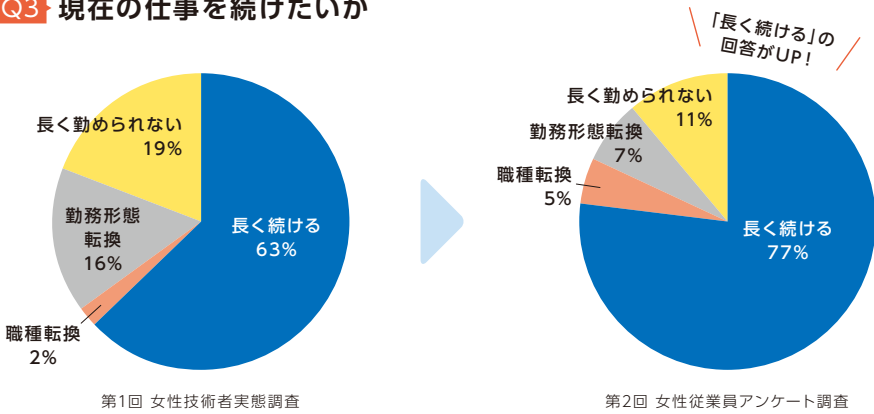
寄せられた主な意見

建設業にかかわらず、**男性側の育児休業の取得を義務にするべきではないか**と思う。家庭状況によって、一週間でも、二か月でも。家庭のことや子育てのことは女性だけの問題ではないので、同じように携わることで個人の意識も変わるし、個人が変われば組織も変わる。そうなれば**女性ももっと復職や長く仕事を続けやすい環境**となると思う。

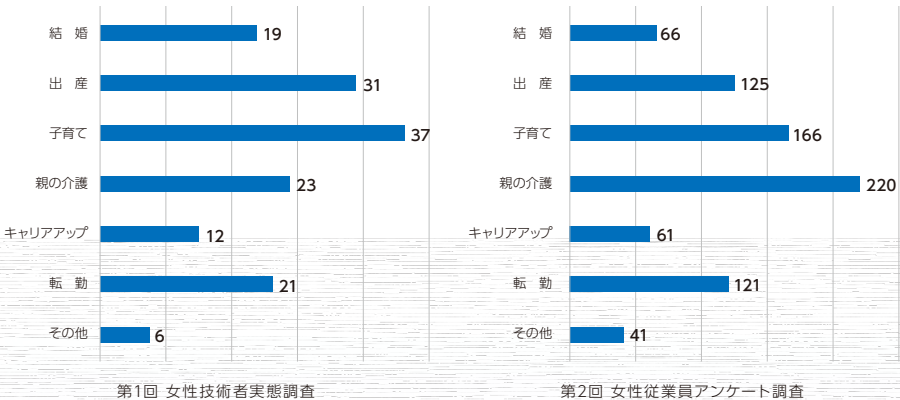
事務所に出社して働くのが当たり前ではなく、**在宅勤務など働く場所や時間を自分で選択**できるようにしてほしい。女性の管理職が**圧倒的に少ない**。

けんせつ小町（女性従業員）アンケート

Q3 現在の仕事を続けたいか



Q4 仕事を続けるうえで不安なこと



寄せられた主な意見

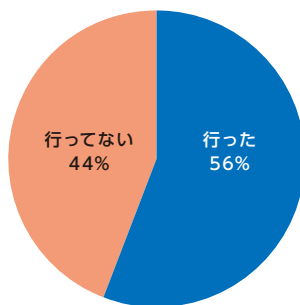
近い内に結婚を考えていますが、**出産や子育て、親の介護問題**といったことに時間が取られ、**仕事への影響がどの程度出るのか分からないので不安**です。時短勤務が出来れば良いですが、繁忙期がある部署なので他の社員に迷惑をかけることになると思うと、色々と考えてしまいます。

フレックスタイム制度は柔軟な働き方という点で助かる。**育休最長2年、時短制度、看護休暇**など制度は充実していると思う。



Q5 新型コロナウイルス対策として テレワークを行ったか

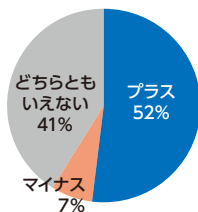
「職種」や「部署」等で
テレワーク可能か否かが
大きく分かれることに！



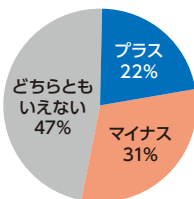
第2回 女性従業員アンケート調査

Q6 テレワークはプラスかマイナスか (第2回 女性従業員アンケート調査)

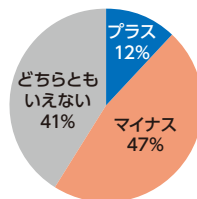
①ワークライフ バランス



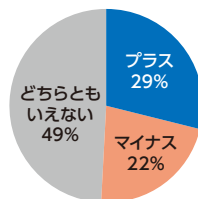
②業務効率



③コミュニケーション



④モチベーション



寄せられた主な意見

プラス面

- 集中できるため仕事の進捗が良い。
- 移動時間を減らすことで負担が減り仕事の効率化につながる。

マイナス面

- 紙提出、回覧資料が多いので業務の効率が落ちる。
- 内勤者はテレワークに対応できるが、外勤者には難しいと思う。

実態調査まとめ

当初は女性技術者や技能者を表現していた「けんせつ小町」の呼称ですが、今では建設業界で働く全ての女性を表す言葉となり、本調査の対象も職種を問わず幅広いものと変化しました。そのため前回の調査との単純な比較とはなりません。現在の勤務環境に対する満足度や勤務を長く続けたいという回答が多いことは喜ばしく思いました。但し、働き続けていくうえでの問題や将来に対して不安を感じているという意見もあり、この問題を解決することが今後の課題と考えます。「けんせつ小町」の実態を調査したこの結果を皆様と共有し、建設業界がより良い方向へ進む足がかりとなることを願います。



けんせつ小町活動推進計画の3つのテーマと方向性

けんせつ小町活躍推進計画策定について

日建連では、建設業における女性の更なる活躍を目指した活動を5年にわたり展開してきました。これまでの活動を踏まえた上で建設業が将来にわたって実現すべき姿を勘案しながら、今後の5年間(2020～2024年度)を見据えた新たな計画を策定しました。

女性のみならず建設業全体が、働きやすい、働き続けたいと思われる職場環境を実現していきたいと考えております。

けんせつ小町活躍推進計画 ～働きたい、働き続けたい建設業をめざして～

本計画は、「定着」、「活躍」、「入職」の3つの大きなテーマに着目し、これらに対して十全の支援を行うことを目標としました。

建設業を職場とし、そこに「定着」して(長い年月にわたり)、「活躍」(イキイキとやりがいを持って自己実現)しているけんせつ小町の姿を見て、「入職」(建設業で働こう)を考える女性が現れるというように、これらのテーマは、お互いを有機的に連携させながら同時に実現することが肝要です。



A. 定着支援

家庭との両立、他業界への転職など、何らかの理由により、けんせつ小町が建設業から離れることのないように支援する。(休職したあと、円滑に職場に復帰し、働き続けられることも含む。建設業から離れる理由には、職場環境・人事制度の問題など種々あるため)

B. 活躍支援

個々人の働きがいを尊重しつつ、けんせつ小町がよりイキイキと働き続けることができる柔軟で多様な働き方の実現を支援する。

C. 入職支援

入職希望者を増やすことを支援するとともに、これから職業に就こうとする、または他業種から転職しようとする女性が建設業で職を得ることを支援する。専門工事業への入職については、会員企業は直接の雇用者ではないため、現場環境の整備や情報提供など入職・雇用に繋がる支援を行う。

けんせつ小町

(一般社団法人日本建設業連合会 けんせつ小町活躍推進計画より)

KENSETSU-KOMACHI

誰もが活躍できる未来に向けて



日建連東北支部において、けんせつ小町(小)委員会を立ち上げ、働きやすく、働き続けられる労働環境の整備に取り組み、5年が過ぎようとしています。

今回「SHOWCASE」の制作にあたりこれまでの活動を振り返り、この先への思いを新たにしました。

2015年と2020年に実施した実態調査には、長く働き続けたいと考えている人が多くいる一方で、働き続けることに不安や課題を抱えている声が寄せられました。

そうした課題解決の方策を探るためにフォーラムを開催し、各回のテーマの選定には、意識調査やイベントの参加者アンケートなど、皆さまのご意見からヒントをいただきました。これまでのフォーラムの中で、子育て中のけんせつ小町によるパネルディスカッションでは、周囲の人たちと信頼関係を築くことの大切さを、イクボスによる講演とパネルディスカッションからは、コミュニケーションの重要性を、けんせつ小町表彰受賞者の講演からは夢や目標を持って働く素晴らしさを、アンコンシャス・バイアスについての講演からは、誰もが持つアンコンシャス・バイアスを意識することで、それをコントロールし、個に向き合う事の大切さを学びました。参加は職種や役職を問いません。男性にも参加していただいています。

フォーラムへ参加した人が得た学びが、個人や組織に変化を与えていくことを信じ、これからも続けていきたいと考えています。

5年前初めての委員会冒頭で、委員長が言った「建設業界を変えていく。労働環境改善のために力を貸して欲しい」という決意の通り、私たちは「女性活躍」や「けんせつ小町応援」をひとつの切り口として、皆さまと一緒に、両立支援制度の整備や労働環境・設備の整備、そして長時間労働の是正・休日取得などの働き方改革といったハード面と合わせ、個人と組織の意識改革などのソフト面にも力を入れて取り組んでいきたいと考えています。そして、この建設業界で生きる全ての人が、生き活きと「ものづくり」に組み、誰もが活躍できる未来を目指します。

最後になりましたが、これまでの活動にご理解とご協力をいただきました東北地方整備局様を始め、東北六県各自治体様、土木学会東北支部様、日建連本部様、また会員会社の皆様には、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。日建連東北支部けんせつ小町(小)委員会は、これからも、皆さまのご意見を耳を傾けながら前へ進みたいと考えております。今後とも、日建連東北支部 けんせつ小町(小)委員会の活動にご理解とご協力の程、お願い申し上げます。

けんせつ小町(小)委員会

委員長 大野 雅紀 (契約制度研究委員会委員長)
副委員長 首根原 努 (広報委員会委員長)

委員 鈴木 克弘 (㈱熊谷組 東北支店)
委員 鹿内 愛彦 (㈱淺沼組 東北支店)
委員 野地 祐史 (㈱戸田建設 東北支店)
委員 横澤 祐介 (㈱大林組 東北支店)
委員 目時 聖司 鹿島建設(株) 東北支店
委員 大場 亮 清水建設(株) 東北支店
委員 下 明彦 大成建設(株) 東北支店
委員 石井 誠 三井住友建設(株) 東北支店

(株)熊谷組 東北支店
戸田建設(株) 東北支店

委員 西條 暁子 (株)熊谷組 東北支店
委員 梅川 瞳 (株)淺沼組 東北支店
委員 水口 薫 戸田建設(株) 東北支店
委員 中野 美緒 戸田建設(株) 東北支店
委員 神田 きよえ (株)大林組 東北支店
委員 守屋 桂 鹿島建設(株) 東北支店
委員 山内 玲子 清水建設(株) 東北支店
委員 富井 賀子 大成建設(株) 東北支店
委員 久我 裕子 三井住友建設(株) 東北支店

企画・編集・発行

(一社)日本建設業連合会 東北支部
〒980-0014

仙台市青葉区本町 2-2-3 広業ビル 3階
TEL 022(221)7810 FAX 022(265)9465

URL https://www.nikkenren.com/about/shibu_2.html

発行

2021年3月

表紙デザイン

黒川美恰(Misato Kurokawa)

印刷

有限会社 大橋印刷商会

